

論文を投稿するにあたっての注意点

—論文の種類—

日本診療録管理学会会誌 編集委員
広島国際大学 医療福祉学部医療経営学科

渡 邊 一 平

1. はじめに

論文を投稿する目的は調査、研究および業務の成果を学術雑誌に掲載して、学会の発展と社会に寄与することである。

診療情報管理および診療録管理業務に従事する者が雑誌に論文を投稿するとき、研究内容に相応しい論文の種類を理解しておくことが必要である。

学術論文は研究計画、研究目的が明確であり、導き出された結論が論理的で無ければならない。誰もがそういう論文を直ぐに書けるわけではないが、優れた良い論文の作成を目指して積み重ねた経験と経過が大切である。診療情報管理の17巻1号(2005年)より、編集委員会では論文審査に関する各委員が交代して、論文を投稿するにあたっての注意点¹⁾⁻³⁾に関して具体的に解説しているので、参考にされたい。

今回は論文を投稿するために注意すべき点として論文の種類について解説する。

2. 論文作成の基本

論文を投稿する際の最も基本的なことは投稿する雑誌の投稿規程をよく読み、その規定を遵守して、論文を作成しなければならない。投稿規定に従って、論文の種類に応じた適切な記載がされていること。時宜にあった論文であることが求められる。本誌の投稿規程の概略を示す。

1) 投稿規程の概略

- (1) 原稿の内容は診療情報管理、診療録管理、およびその関連領域のものとする。
- (2) 論文の種類は「原著」、「総説」、「解説」、「事例報告」、「調査報告」および「研究速報」に分類している。
- (3) 「原著」の本文構成は「背景および目的」、「対象および方法」、「結果または成績」、「考察」、「結語」の順序で記載し、他の論文も原著に準じて

「目的」、「方法」・「対象」、「結果」、「考察」の順にまとめる。「調査研究」、「事例報告」、「研究速報」の場合は「目的」、「方法」・「対象」、「結果」、「考察」が基本的な論文構成となっている。

- (4) 原稿の長さは図表、写真、文献を合わせて、原著、総説、解説は12,000字以内、事例報告、調査報告、研究速報は6,000字以内である。これ以外に200字以内の要旨と5つ程度のキーワードをつけることになっている。

3. 論文の種類

投稿規程に示されている論文種類は「原著」、「総説」、「解説」、「事例報告」、「調査報告」および「研究速報」である。

投稿しようと考えている論文を発表するために、最も相応しい論文の種類を選択しなければならない。論文の種類を説明する。

1) 「原著」

研究成果に斬新性があり、新たな知見が認められるもの。あるいは既に認められた知見であっても、検索、調査および解析、分析などにおける独創的な方法や手法が論述されているもの。研究計画が明確で、研究目的の達成が論理的に述べられているもの。新知見の考察には、引用文献による客観的論述がされている。また他の研究者が追試することが可能でなければならない。

2) 「総説」

検討する主題に関連して、学術的に報告された論文を網羅して客観的に解説を加えていること。検討に関連する主な論文が引用されて考察されている。新たな知見や理論に関する現状分析や解決すべき問題点などを総括し解説している。技術や手法などに関する分析や問題点などが総括されている。現状の解説および将来展望が明らかにされていること。

3) 「事例報告」

診療録管理に関する単独施設における経験的な報告である。少数の対象例による記録にとどめる価値があると判断されたもの。事例的報告である。主とする研究の前段階的研究である。統計学的な分析を必要としない報告である。

4) 「調査報告」

新たな知見でなくとも、現状調査により付加価値的知識を満たしている。十分な内容の調査資料を統計学的に整理し、理論的な成果を示している。多数の施設における調査結果に有意義な成果が認められ。単独施設における調査結果であるが、十分な対象について分析がなされている。

5) 「研究速報」

分析や考察が十分ではないが、新知見であることを早期に公表する目的である。「原著」論文を目的とした、前段階的研究結果である。

論文の種類としてそれぞれの違いを理解し、発表する論文の内容を適切に表せる論文の種類を選択しなければならない。著者は論文種類を希望できるが、最終判断は編集委員会が論文内容を審議して決定する。

4. その他

論文は、読者の興味や関心を引く内容で無ければならない。そのためには、図表作成と原稿構成が重要である。

1) 図表作成

論文に掲載される図表は白黒印刷のため、ポスター発表や口頭発表で使用したカラー印刷の図表は作り直すことが必要である。また、円グラフの百分率など計算値などの表示は小数点以下2桁まで計算し、四捨五入して、小数点以下1桁で表示すべきである。

図表に使用する文字・数字は印刷時に見やすい大きさとフォントであること。特に数値軸の単位、目盛りの記載に注意し、単位や目盛りを忘れると図表の意味が無くなってしまう。パソコンの画面コピーを使用しないこと。立体図表を使用することも避けること。いずれも図表として見やすい図表作成を行うこと。

2) 原稿構成

(1) 口頭発表原稿と投稿論文の違い

投稿論文としては、口頭発表で使用した原稿は口語調であるので、そのまま使用することは

避け文語調に書き改めなければならない。実際には、投稿論文ではこれらを、例えば、「・・・です。」「・・・ます。」は「・・・である。」の文章に修正する必要がある。また、研究会や学術総会で使用した口頭発表の原稿は、図表を中心に口頭で説明するため、重点事項の説明が箇条書きになっている。2.1) (3)で説明した如く、論文の基本構成に従って大項目(1. 目的、2. 対象および方法、3. 結果または成績、——)を立て各々の大項目の内容に従って、中項目(1)、2)、3)、一)、小項目((1)(2)(3)——)などの項目立てにより、研究の内容や結果を論理的に記述することが重要である。

(2) 「事例報告」の論文の長さ(字数)は1頁600字で10枚(6,000字以内)以内である。論文の長さは「原著」の半分である。しかし、要旨としての200字は他の論文と同様に使用可能である。読者は、要旨の内容を見て、論文を全文読むか、読まないかを定めることがある。200字の中に論文のエッセンスを込めて「目的」、「方法」、「結果」、「考察」をまとめた要旨を書く必要がある。しかし、100字未満の要旨しか書いていない論文も有り、規程に従った文字数を有効に活用していない例に対しては非常に残念に思われる。

5. おわりに

論文の種類について説明した。研究成果を発表するために適切な論文の種類を選択し、読者に分かりやすい論文を書くには、豊富な論文作成の経験が重要であるが、論文作成の初心者は、論文作成に経験豊かな指導者(医療施設では医師)の協力を得る事が必要である。

研究成果を表すのに最も相応しい論文の種類を理解し、投稿規程に沿った論文作成を学んでいただきたい。

参 考 文 献

- 1) 原臣司：論文をまとめるにあたって、診療録管理. 17(1). 51-53.2005.
- 2) 信川益明：論文を投稿するにあたっての注意点, 診療録管理. 18(1). 83-87.2006.
- 3) 入江真行：論文を投稿するにあたっての注意点-図・表の取り扱い-, 診療録管理. 18(1). 90-91.2007.